

令和6年度 荊崎学園つくば市立荊崎第三小学校グランドデザイン



【茨城県教育目標】
 ○ひとりひとりの能力を開発し
 豊かな人間性を培う
 ○じょうぶな身体をつくり
 たくましい心を養う
 ○郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【学校教育目標】
 自ら考え、進んで行動し、心やさしく、たくましい児童の育成
 ～夢や希望を抱き、一人一人が輝く学校づくり～

【つくば市の目標】
 ○みんなが幸せを実感できる
 学園・学校・幼稚園

【校訓】
 かしこく（知）
 なかよく（徳）
 たくましく（心と体）

【組織目標】
 ○「学び続ける力」を育む授業づくり ～ふしぎを 仲間と 分かるまで～
 ○一人一人が自己決定し、認め合い高め合う集団づくり ～チーム三小～

【荊崎学園の目標】
 ○自ら学び
 豊かな人間性とたくましさを備え
 未来を拓く児童・生徒の育成

目指す学校像
 ○子どもたちの笑顔があふれる学校
 ○教職員が元気であり、働きがいのある学校
 ○家庭地域と協働し、相互に教育力を高め合う学校

目指す児童像
 ○主体的に生き生きと学びに向かう児童
 ○思いやりのある児童
 ○たくましい心と体で、元気に生活する児童

目指す教師像
 ○自己の使命を深く自覚し、研修に励む教師
 ○人間性豊かで、子どもの気持ちがわかる教師
 ○心身共に健康で、実践力のある教師

知（「学び続ける力」を育む授業づくりの推進）

- 1 主体的で対話的な深い学びを実現する授業改善**
 - 基礎・基本の確実な習得と学習規律の確立
 - 校内研修の充実（探究を目指した授業の質的向上）
 - 学びの系統性、連続性の重視（小中一貫教育）
 - 読書50冊達成（100%）
 - ファシリテーターとしての資質向上（役割の具現化）
 - チーム（担任・副担任制）での教育力向上
 - 地域の教育資源の有効活用
- 2 個別最適な学びと協働的な学びの推進**
 - 学び方の工夫（指導の個別化と学習の個性化）
 - 1人1台端末の有効活用
 - 課題解決に向けた協働的な学び合い
- 3 家庭学習との相互補完**
 - ICTの効果的活用

徳（円滑な人間関係の醸成を図り、一人一人が自己決定し、認め合い高め合う集団づくりの推進）

- 1 規範意識の高揚**
 - 基本的な生活習慣の確立（時を守り、場を清め、礼を正す）
 - 自己決定できるルールメイキングの推進
- 2 心の教育の充実**
 - 考え、議論する道徳授業の推進
 - いじめ見逃しゼロを目指す相談体制の構築
 - 発達段階に応じた人権教育の実施
 - 夢や希望、目標につながる機会の充実
- 3 自己肯定感を育む教育の推進（認められる場の設定）**
 - 多様な考えを大切に特別活動の充実
 - 認められる多様な場の設定（クッションボードの活用）
 - 保幼小中の連携による一貫教育の充実と異学年交流の活性化
 - 家庭教育との連携、地域・外部人材との積極的な関わり

心・体（自己管理能力を高め、望ましい生活習慣の定着と体力づくりの推進）

- 1 体力・運動能力の向上（重点：投力、柔軟性）**
 - 体力向上プログラムの実施
- 2 健康、安全、防災教育の充実（CS[防災・地域愛]との連携）**
 - 生活安全、交通安全、災害安全、情報
- 3 特別支援教育の充実**
 - コーディネーターを核としたチーム支援の推進
 - 配慮を要する児童への共通理解と合理的配慮
 - 通常の学級における指導の充実
- 4 安全安心な教育環境の整備の推進**
 - 感染症を予防する生活様式の確立
 - 地域と連携した登下校の見守りの充実

家庭・地域との協働関係を大切にした 信頼される開かれた学校づくり

1 積極的な情報公開と運営面での継続的改善
 ・学校公開、HP、学園・学校・学年だよりの充実
 ・学校評価、教員評価でのPDCAサイクルの充実
 ・コミュニティー・スクールの積極的運営

2 地域教育資源の積極的活用
 ・地域コーディネーターの位置づけ
 ・地域交流室の積極的な運営と人材発掘
 ・地域の人的物的資源の活用

3 校内コンプライアンスの確立
 ・ボトムアップ型研修の充実
 ・研修会への外部人材の導入
 ・良好な人間関係、職員室経営の充実

4 働き方改革の推進
 ・校務の効率化（ICT活用、業務削減）
 ・教材、教具、ワークシートの共有
 ・地域人材・外部団体の効果的活用